

令和5年度 豊島区生活支援体制整備事業

1

地域のささえあいの
仕組みづくり協議会の
運営

2

地域資源データベース
システム (Ayamu) の
運用

3

としま
ベンチプロジェクト

4

広報「つながる地域
(まち) づくり通信」
の発行

5

高齢者の生活支援推進
員(第2層SC)活動支援

6

地域の実態調査と
ネットワークの構築

地域のささえあいの仕組みづくり協議会(第1層協議体)について

協議会の委員は、民生委員・児童委員や高齢者クラブ、商店会、金融機関、区民ひろば、銭湯組合、福祉専門学校、介護事業者などからなる12名です。



1.地域のささえあいの仕組みづくり協議会(第1層協議体)の運営について

開催日	主なテーマ	ゲスト	参加者
第1回 令和5年7月5日	としまベンチプロジェクトの拡大に向けた高齢者の生活支援推進員の取り組みと活動先や立ち寄れる場の情報について	東浴信用組合 理事 豊島支部	17名
第2回 令和5年11月28日	①高齢者クラブの活動と高齢者の生活支援推進員の関わりについて ②区有施設以外で行う相談会の場所について	としま会議 主宰/ RYOZANPARK インキュベーション・マネジャー	15名
第3回 令和6年2月29日	としまベンチプロジェクトの取り組み案と事業展開について	としま会議 主宰/ RYOZANPARK インキュベーション・マネジャー TOSHIMA STREET FES主宰/ 株式会社 Xcountry 株式会社サンシャインシティ 地域のささえあいの仕組みづくり協議会OB	19名


2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

- ・地域資源の可視化と有効活用
- ・プロジェクトチームを実施し運用 (2019年度運用開始)


掲載する情報は、社会参加や生活支援に関わる団体情報や活動ができる場所（体操や趣味のサークル、ボランティアグループ、サロン等）




地域資源情報データベースシステム
*カシオ計算機株式会社運営の「Ayamu」を活用しています。




高齢者総合相談センター
見守り支援事業担当



生活支援
コーディネーター



社会福祉協議会
CSW



豊島区役所
高齢者福祉課

ささえあいの地域づくりの
ための情報活用

窓口での情報提供



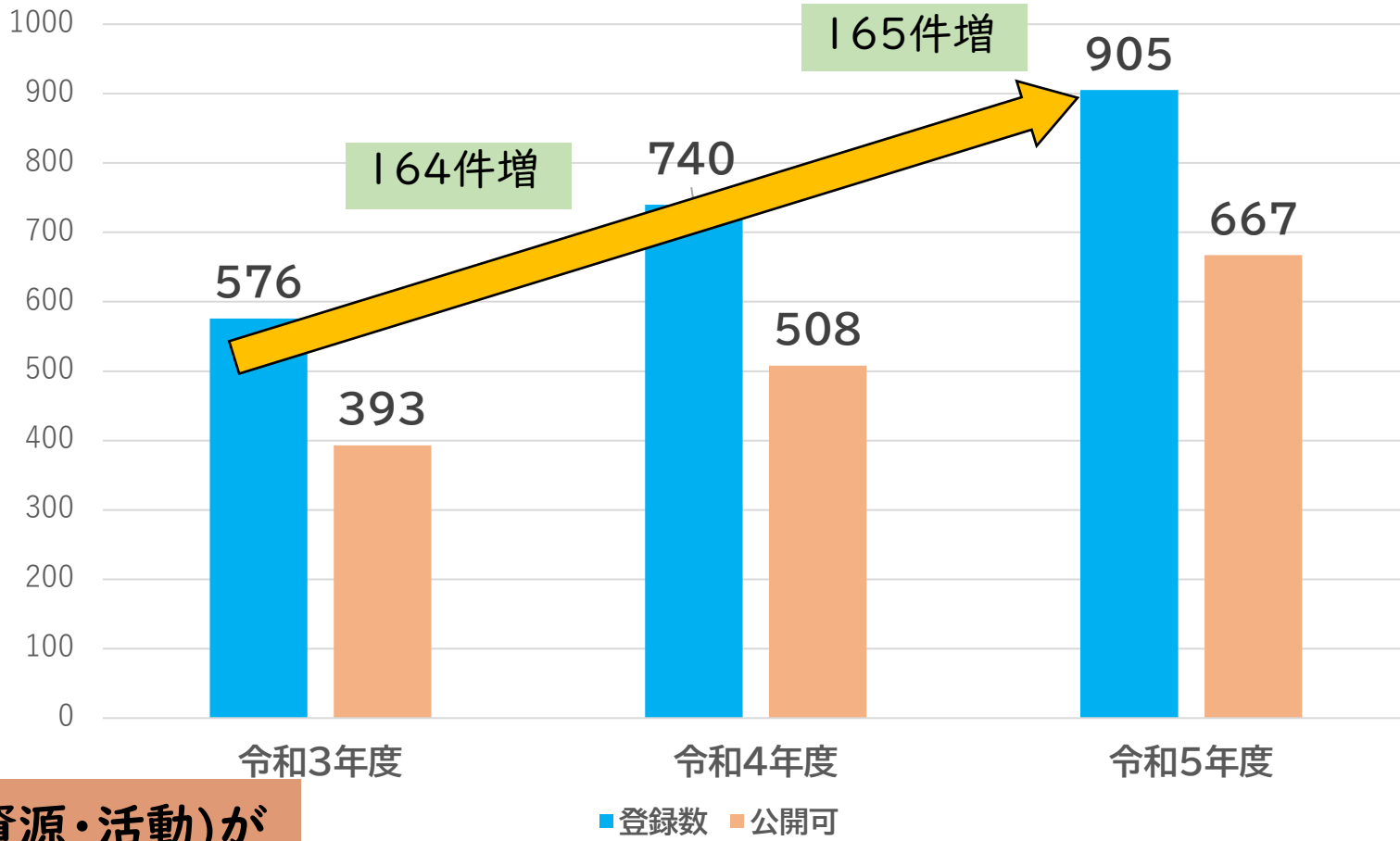
- ★情報は以下の 目的で活用
- ①区民への活動のご紹介
 - ②団体と担い手のマッチング
 - ③区域や圏域別の地域アセスメント

2.地域資源情報データベースシステム(Ayamu)の運用及び推進について

①AyamuPT開催

年2回開催。今年度から高齢者の生活支援推進員が全域配置に。

②活動・サービス情報 登録数



Ayamuという宝箱に905個の宝物(地域資源・活動)が入っています!(令和6年3月31日時点)

3.としまベンチプロジェクト

地域のささえあいの仕組みづくり協議会の委員から、今年度の取り組みについて聞き取りを実施

→ 地域住民が頑張っ実現できるようなことを取り組むべき

→ これまでの議論中で「高齢者が自分の足で外出しやすいように地域にベンチを設置する」

「ベンチを置くことで地域にコミュニティができる」

等の意見をもとにベンチプロジェクトを実施

住宅街や道路沿いで、民家の植え込みの端や縁石、ポールなどに座って休んでいる方を見かけることがあります。不安定な場所に座って、後ろに倒れこんでケガをした高齢者を家に送り届けたという話もよく聞きます。

長時間歩くのがつらいなどの理由で外出を控え引きこもりがちになる高齢者、ちょっと休めると助かる親子連れなどが、ベンチがあると途中で休憩し、安心して外出できます。

また、ベンチを置くことで、そこに小さなコミュニティができ、人が座っていることで地域の防犯にもつながり、活発で暮らしやすいまちになります。



3.としまベンチプロジェクト



こんなまちをみなさんとつくりたい

☆いつまでも自分の足で歩けるまち

長い道のりを歩くのが難しい高齢者なども、ベンチを一里塚のようにして休むことができると、自分の足で歩ける範囲が広がります。高齢者だけでなく、ベビーカーを押す子育て世代など、みんなに優しいまちになります。

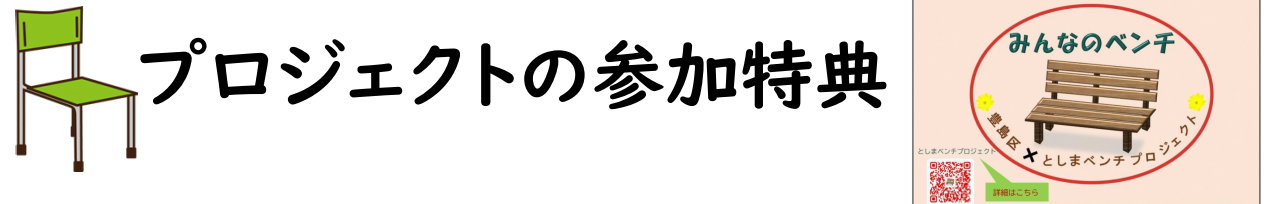


☆でかけたくなるまち

休む場所があることで、まちに人が増え、自然とコミュニケーションも広がります。更に地域の防犯や見守りなどの効果も期待できます。

☆つながりのあるまち

地域の住民や関係機関、お店、企業、行政等が協力してベンチを設置することで、つながり深まり、誰もが住みやすいまちになります。



プロジェクトの参加特典

☆ステッカーを進呈します。

☆ステッカーを貼ったベンチは保険対象となります。

みなさんもプロジェクトに
参加してみませんか？

☆ベンチの維持や管理は設置者をお願いしています☆

①今あるベンチを誰でも使えるベンチに



ステッカーをお渡しします！

②新たにベンチを置きたい



一緒に考えます！下記までご相談ください

詳しくはホームページを
ご確認ください



3.としまベンチプロジェクト

地域のささえあいの仕組みづくり協議会から始まった
「としまベンチプロジェクト」が
豊島区の事業に選ばれました！！



3.としまベンチプロジェクト

投票番号

7

としまベンチプロジェクト

高齢者・障害者支援
安全・安心

だれでも座れるベンチで、移動や交流を支援します



民間企業の地域貢献で
ベンチを制作



商店街や施設、
住民に譲渡



移動支援や
交流につながる！

期待される
効果

- まちにベンチがあることで、移動支援につながる
- 井戸端会議や、交流の場にもなる
- 緩やかな地域の見守りや、防犯的な効果も期待

3.としまベンチプロジェクト

他自治体からの相談対応

令和3年：2件

雑誌コトノネ掲載
岐阜県社協

令和4年：1件

郡山市社協

令和5年：17件(3月末時点)

- 千葉市内包括
- 山口県和木町(行政)
- 神奈川県相模原市(社協)
- 宮城県仙台市(住民、行政)
- 埼玉県北本市(社協)
- 京都府伏見区(住民)
- 東京都国分寺市(行政)
- 埼玉県新座市(行政)
- 埼玉県川口市(行政)
- 東京都青梅市(行政)
- 静岡県富士宮市(社協)
- 大阪市大東市(社協)
- 滋賀県大津市(社協)
- 東京都品川区(行政)
- 東京都文京区(行政)
- 愛媛県大洲市(社協)
- 東京都墨田区(住民)



70台(令和6年2月末時点)

詳しくは→



まち 4. 広報「としまつながらる地域づくり通信」の発行

第21号～26号発行

データはこちら→



第21号(2023年5月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

お気軽にご相談ください!

私たちが高齢者の生活支援推進員です

高齢者の生活支援推進員(第2層生活支援コーディネーター)とは
高齢者がいつまでも住み慣れた地域で元気に暮らしていけるよう、
買い物や電球交換など生活支援の仕組みづくりや集まれる・活躍できる
社会参加の場づくりなどを通して、介護予防を目的として活動して
います。一般的には第2層生活支援コーディネーターと呼ばれますが、
豊島区では、高齢者の生活支援推進員が愛称となっています。



第22号(2023年7月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

高齢者の生活支援推進員の活動紹介

高齢者の生活支援推進員(第2層生活支援コーディネーター)が各地域で色々な取り組みを行っています。今までに買い物支援や移動支援に取り組んだ圏域もあります。

今回は豊島区医師会圏域と東部圏域の活動をご紹介します。

豊島区医師会圏域 (西池袋1～5丁目、池袋3丁目、目白3～5丁目)

担当連絡先 ☎03-3981-4392

昨年度から区民ひろはる西池袋で実施していた、CSW(コミュニティソーシャルワーカー)、高齢者の生活支援推進員とのスマートフォン相談会ですが、今年度は会場となっている区民ひろはる西池袋との共催として5月11日(木)に開催しました。

当日は申しも参加して多世代交流とした困り

第22号(2023年7月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

第1回 地域のささえあいの仕組みづくり協議会

7月5日(水)、今年度第1回目となる、第1層協議体

「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」を実施しました。
今回は活用できる場の情報や、としまベンチプロジェクトの拡大について、ワークショップを行いました。



【ワークショップを通して出た意見】

- ・人が集まる場所、商店街などにベンチがあると良い。
- ・介護施設や都営住宅などの集客活用を検討。
- ・特別養護老人ホームや大学などの敷地内にベンチ設置についてヒアリング。

【今後の展開】

- ・上記以外にもたくさん出た意見をもとに、高齢者の生活支援推進員が各地域で活動に取り組んでいます。

裏面もあります

第24号(2023年10月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

高齢者の生活支援推進員が関わっている活動紹介

ラルゴごはん(豊島区医師会圏域)

レンタルスペースオーナーの「カフェだった場所が閉まっているのはさみしい」、「地域を盛り上げたい」、という想いを関係機関と受け止め、無理なく実施できることを検討。孤食を減らす、みんなで食べると楽しい場づくり、という目的で、持ち込みごはんの会の立ち上げに高齢者の生活支援推進員が関わりました。



いけばぐろ茜の里のパンも販売!!

お水に入れているハーブは日々ガーデン(下記)で育てたものを使用!

▶ 開催日時や場所については裏面の問い合わせ先までご連絡ください。

第24号(2023年10月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

第2回 日々ガーデン(豊島区医師会圏域)

有料老人ホーム、ニチイホーム自白の屋上を活用した、つながるサロン立ち上げに高齢者の生活支援推進員が関わりました。みんなで育てたハーブを地域で活用できないか相談したところ、快く「ラルゴごはん」(上記)に提供いただきました。

裏面もあります

第25号(2023年12月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

老でのサロン活動紹介

交流の場「ふれあいの居場所」づくりに向けて～

「この辺には集まれるところがない」という声を聞き、「自宅の一階部分を活かして何かできないかな?」と思いました。社会福祉協議会のバックアップのもと、協力者を集い、地域の交流の場として毎週金曜日の午後、活動しています。

自宅の一階部分の活用事例
「この辺には集まれるところがない」という声を聞き、「自宅の一階部分を活かして何かできないかな?」と思いました。社会福祉協議会のバックアップのもと、協力者を集い、地域の交流の場として毎週金曜日の午後、活動しています。
(「サロンさんぽ道」)

空き家状態の自宅の活用事例
地域で第60年の住居革新製品制作の工務店第2回豊島区リノベーションスクールを通して、有志によるプロジェクトチーム「マチノオト」を結成。集まる場がないということ地域住民と一緒に考え、月に1回(第3水曜日午後)茶話会を開催しています。
(「マチノ茶話会」)

豊島区の活動助成金(一例)

豊島区介護予防活動助成金
☎: 03-4566-2434(高齢者福祉課)

つながるサロン(通所型サービス)
☎: 03-4566-2435(高齢者福祉課)

【今後の展開】

- ・高齢者クラブと高齢者の生活支援推進員が意見交換を行っています。
- ・商店街が保有するスペースで相談会を実施。
- ・金融機関でも相談会の実施が可能意見交換を予定。

裏面もあります

第26号(2024年2月)

豊島区生活支援体制整備事業

つなまち通信

～としまつながらるまち(地域)づくり通信～

第2回 地域のささえあいの仕組みづくり協議会 開催

11月29日(水)、今年度第2回目となる、第1層協議体

「地域のささえあいの仕組みづくり協議会」を実施しました。
今回は①『高齢者クラブの活動』、②『まちなかでの相談会』についてワークショップを実施しました。



- 【高齢者クラブの活動についての意見】**
 - ・趣味や好きなことでグループを作る
 - ・高齢者の生活支援推進員が関わっていく
 - ・楽しい事例をモデル的に取り組んでみる
- 【まちなかでの相談会についての意見】**
 - ・商店街の中でも出張相談を実施
 - ・金融機関も色々な人が来る
 - ・相談、という言葉を使わない場づくり

【今後の展開】

- ・高齢者クラブと高齢者の生活支援推進員が意見交換を行っています。
- ・商店街が保有するスペースで相談会を実施。
- ・金融機関でも相談会の実施が可能意見交換を予定。

裏面もあります

地域住民や団体への情報発信、活動啓発を行うとともに地域のささえあい意識を醸成

5. 高齢者の生活支援推進員(第2層SC)活動支援

令和5年度からスタートした高齢者の生活支援推進員を中心に定例会などで活動に対する助言、情報提供の支援を行いました。

①研修実施

令和5年度から全域配置となったため、事業説明や一緒に事例検討する機会を作りました。

②活動支援

下記活動に助言、同行などを行いました

としまベンチプロジェクト、とくし丸(移動スーパー)、商店街での取り組み、誰でも食堂など

6. 地域の実態調査とネットワークの構築

① 地域デビューへの取組み

昨年好評だったため、リニューアル!!
 定年を迎える方に向けて、「地域で活躍guide」を配布。地域とつながりを持つきっかけに。

あなたの活動希望 かんたんチェックシート

どのような条件で活動をしたいと思っているか、各項目にチェックを入れながら、整理してみましょう。活動先を探るとき、選ぶときのヒントになります。

A 内容	<input type="checkbox"/> ボランティア活動	<input type="checkbox"/> 地域活動	<input type="checkbox"/> 趣味活動	<input type="checkbox"/> 仕事	<input type="checkbox"/> その他
B 時期	<input type="checkbox"/> 今すぐ	<input type="checkbox"/> 3か月以内	<input type="checkbox"/> 半年以内	<input type="checkbox"/> 未定	<input type="checkbox"/> 仕事や介護などが落ち着いたら
C 頻度	<input type="checkbox"/> 毎日	<input type="checkbox"/> 週2~3日程度	<input type="checkbox"/> 週1日程度	<input type="checkbox"/> 月1回程度	<input type="checkbox"/> 単発
D 収入	<input type="checkbox"/> 無償	<input type="checkbox"/> 交通費程度	<input type="checkbox"/> 月1万円程度	<input type="checkbox"/> 月5万円程度	<input type="checkbox"/> 月10万円以上

わたしは、
 A 内容【 】を、B 時期【 】に、
 C 頻度【 】で、D 収入【 】で、
 活動することを希望しています!

- 菊かおる園圏域(西楽鴨、東鴨3-5、北大塚1-2)にお住まいの方
→社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団(03-5980-0294)
- 東部圏域(南大塚、駒込、東鴨1-2)にお住まいの方
→社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会(03-3981-4392)
- 中央圏域(北大塚3、上池袋、東池袋)にお住まいの方
→NPO法人 コミュニティランドスケープ(070-4396-8960)【代表】
- ふくろうの杜圏域(南池袋、雑司が谷、高田、目白1-2)にお住まいの方
→NPO法人 いきがいに安心ジョイフル結の会(090-8514-0542)
- 豊島区医師会圏域(西池袋、目白3-5、池袋3)にお住まいの方
→社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会(03-3981-4392)
- いけんよんの郷圏域(池袋1・2・4、池袋本町)にお住まいの方
→NPO法人 ぶどうの木(090-3081-5395)
- アトリエ村圏域(長崎2-6、南長崎)にお住まいの方
→労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団(090-1545-6108)
- 西部圏域(長崎1、千早、高松、要町、千川)にお住まいの方
→労働者協同組合ワークスコープ・センター事業団(090-6306-7315)

発行 豊島区 高齢者の生活支援推進員(第1層生活支援コーディネーター)
 【問い合わせ】社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会
 共生社会課 生活支援コーディネーター担当
 〒170-0013 豊島区東池袋1-39-2 豊島区役所東池袋分庁舎3階
 電話 03-3981-4392 メール csw_seikatsu@a.toshima.ne.jp

としまで生涯現役!!

地域で活躍 guide

～あなたのセカンドライフを応援します!!～

地域には、様々な人となることができ、活動や、趣味やお仕事で培った経験や技術を活かして活躍できる場がたくさんあります。
 「退職して時間ができたら何をしようかな」「働きながら地域貢献してみたいけど…」など、セカンドライフの過ごし方でお悩みの方は、是非本ガイドをご活用ください!

Question

Q1 活動名称
 Q2 活動をはじめたきっかけ
 Q3 活動のなかで大切にしていること

Answer

A1 サロンさんぽ道
 A2 高齢者の居場所が必要と感じて
 A3 人と人のつながり

Question

Q1 活動名称
 Q2 活動をはじめたきっかけ
 Q3 活動のなかで大切にしていること

Answer

A1 サロン ジャズミン
 A2 楽しい介護予防活動の1つとして
 A3 みんなが楽しむこと

Question

Q1 活動名称
 Q2 活動をはじめたきっかけ
 Q3 活動のなかで大切にしていること

Answer

A1 歌声教室
 A2 今より楽しく、上手に歌うため
 A3 継続していくことが大事

Question

Q1 活動名称
 Q2 活動をはじめたきっかけ
 Q3 活動のなかで大切にしていること

Answer

A1 元気/ながさきの会
 A2 地域での介護予防の取り組みとして
 A3 介護予防、地域貢献

これからの私の生活スタイルは??

先輩活動者へ聞きました!!

地域には、様々な人となることができ、活動や、趣味やお仕事で培った経験や技術を活かして活躍できる場がたくさんあります。
 「退職して時間ができたら何をしようかな」「働きながら地域貢献してみたいけど…」など、セカンドライフの過ごし方でお悩みの方は、是非本ガイドをご活用ください!

- としまビジネスサポートセンター**
 起業や創業の相談や支援
 電話: 03-5992-7022
- ハローワーク池袋**
 職業紹介の相談窓口
 電話: 03-5911-8609
 (55歳以上の場合は: 音声ガイダンス42#)
- 豊島区シルバー人材センター**
 仕事や能力が活かせる就業などの相談窓口
 電話: 03-3982-9533
- 家事援助スタッフ**
 高齢者のご自宅で掃除・洗濯・買い物などの家事援助を行う仕事(区実施の研修あり)
 電話: 03-4566-2435 (豊島区高齢者福祉課)
- 住民参加型在宅福祉事業 (豊島区民社会福祉協議会)**
 - ① 家事援助を中心とした地域の助け合いの活動(ボランティアサービス) 電話: 03-3981-9250
 - ② ちょっとお助け活動(買い物支援サービス) 電話: 03-3981-3166
 - ③ 車いすのまま乗れる車で移動のお手伝い(ハンディキャブ) 電話: 03-5396-4954
- 高齢者クラブ**
 お住まいの地域で趣味活動や社会貢献活動など
 電話: 03-5950-2511 (豊島区高齢者クラブ連合会)
- 地域文化創造館**
 地域の学びあいの場としてサークル活動や講座を実施
 電話: 03-4566-2762 (豊島区学習・スポーツ課)
- 区民ひろば**
 地域コミュニティの拠点として、事業やイベントを実施
 電話: 03-3981-1479 (豊島区地区民ひろば課)
- としまボランティアセンター**
 ボランティア活動全般に関する相談窓口
 電話: 03-3984-9375
- としまNPO推進協議会(NPO法人で活動)**
 社会貢献団体の関係形成と活動支援をする中間支援組織
 電話: 03-5951-1508
- みどりの協定・公園等みどりの協定**
 公園等の公共的な場での緑化活動を支援
 電話: 03-3981-4940 (豊島区公園緑地課)
- <講座を受講して活動>
 - 介護予防リーダー/介護予防サポーター/フレイルサポーター**
 介護予防に関する活動をする
 電話: 03-4566-2434 (豊島区高齢者福祉課)
 - 傾聴ボランティアステーション**
 話を聴いてほしい高齢者の方への傾聴活動
 電話: 03-5980-0294 (豊島区社会福祉事業団)
 - ファミリーサポート・センター**
 地域の中で育児のお手伝い
 電話: 03-3981-2146 (ファミリーサポート・センター事務局)

記載している活動や団体は一例です。令和5年9月現在

6.地域の実態調査とネットワークの構築

①地域デビューへの取組み

セカンドライフ応援講座・相談会実施

あなたのセカンドライフを応援!!

セカンドライフ 応援講座・相談会

あなたの知識やキャリアを地域で活かしてみませんか？
地域で活動している方のお話を聞いて
様々な団体の紹介や相談ができるイベントです

11月9日(木) 午後1時30分～
豊島区役所 本庁舎1階 センタースクエア
(南池袋2-45-1)

定員：50名 おみやげ付

イベント紹介動画はこちら



2ND LIFE

【要予約】電話で申込 ☎4566-2435
豊島区高齢者福祉課 生活支援体制整備グループ

あなたの活躍をサポートします！

相談会 午後1時30分～4時(常設)
団体の紹介や相談ブースにて
お話ができます

〈参加団体〉

ハローワーク池袋	区民ひろば
豊島区シルバー人材センター	地域文化創造館
傾聴ボランティアステーション	高齢者クラブ
としまボランティアセンター	みどりの協定(公園の花壇ボランティア)
としまビジネスサポートセンター	としまNPO推進協議会
ファミリー・サポート・センター	認知症介護者の会
特定非営利活動法人ぶどうの木	家事援助スタッフ/介護予防リーダー

講演会 午後2時～3時

①定年後に地域で自分を活かそう
と思ったきっかけについて

②私がやっている活動について



堀川氏 平井氏

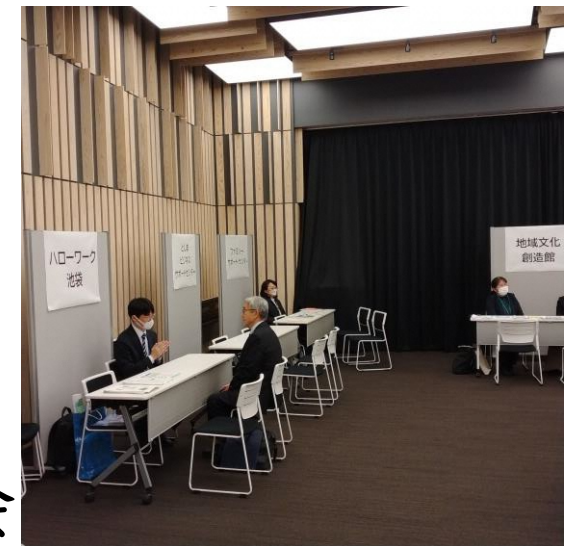


布施川氏 市川氏

おしゃべりスペースもあります
コーヒーを飲みながらゆっくりお過ごしください



講演会



相談会



当日の様子はこちら

6.地域の実態調査とネットワークの構築

②TVゲームを活用した介護予防、多世代交流の機会づくり



【検証結果】

- ・ボーリングはルール説明が不要。
- ・操作説明必須。
- ・チーム戦のほうが盛り上がる。
- ・男性も参加しやすい/活躍の機会となる。

6.地域の実態調査とネットワークの構築

③区有施設以外で行う相談会の場所についての取り組み

商店街会長、町会長にも協力を得て、実施することができました。

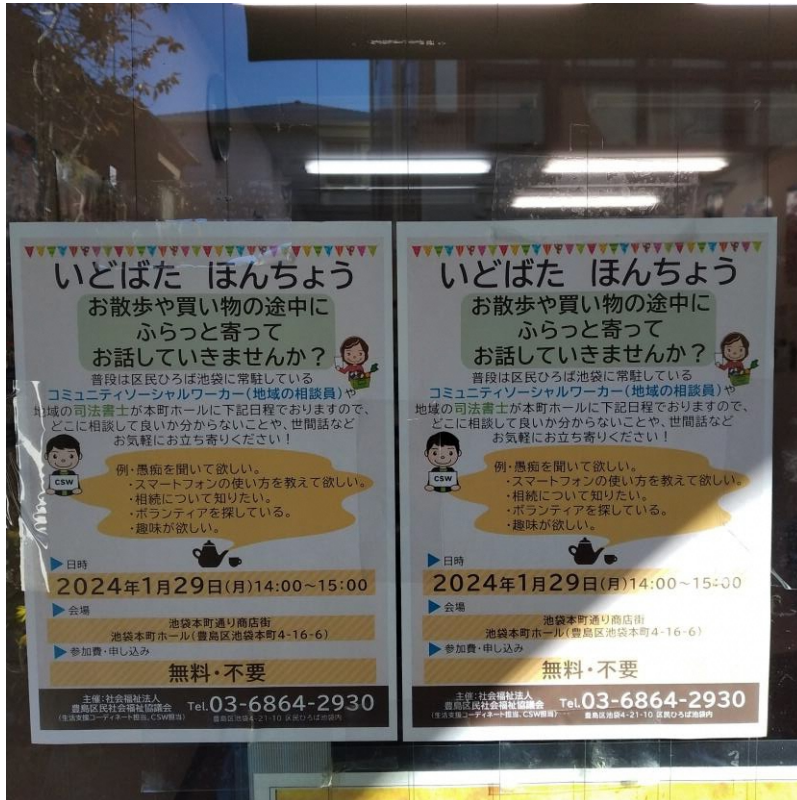
【検証結果】

相談者より、どこかの法律事務所で相談という行きづらけれど、商店街とか行きなれた場所は相談しやすい。

実施することでの効果があるため、次年度は圏域のCSWに引継ぎ、継続実施予定。



その他にも、巣鴨信用金庫での相談会、情報発信の機会を検討中



6.地域の実態調査とネットワークの構築

④ボランティア希望者と地域活動のマッチング

近隣大学との連携で下記活動に学生ボランティアをコーディネート

- ・スマートフォン相談会(西池袋)
- ・モルック(巣鴨)

今年度、22名(重複込み)の学生を高齢者の地域活動につなぎ、困りごと解決や多世代交流の場づくりを行う。



【検証結果】

- ・学生の活躍支援や多世代交流などの効果が得られた。
- ・活動先は限定されていないので、全圏域でコーディネートが必要となるため、豊島ボランティアセンターと仕組みを検討。

6.地域の実態調査とネットワークの構築

⑤高齢者クラブ活動支援マニュアル作成

豊島区の特徴

- ・ 日本一の過密都市
- ・ 活気があり、消滅可能性都市を脱却
- ・ 一人暮らし高齢者の割合が全国一（75歳以上、郡部除く）
- ・ 外国人人口が多い（人口の約1割）
- ・ 企業が多い など

高齢者クラブ/地域活動 運営支援マニュアル

2024.3

生活支援体制整備事業

住民同士がささえあい、年を重ねても誰もが安心して過ごせる地域づくり、ささえあいの仕組みづくりの事業です。
これを実現するために、協議体を設置して協議をすすめています。

高齢者クラブとは？

地域を拠点に自主的に組織された、主に「社会奉仕活動」、「健康を進める活動」、「生きがいを高める活動」に取り組んでいる60歳以上の高齢者を中心とした団体のことです。令和6年3月現在、豊島区内には75団体あり、それぞれ特色のある活動をしています。

～活動内容についての取り組み～ 情報提供例

A 日常活動 ~~×~~ 有償

- ・ 講師の紹介(例：つながるサロン講師)
- ・ その他(例：地域で活躍する方を紹介)

※つながるサロンとは区内の介護予防サロンの総称

B 日常活動 ~~×~~ 無償

- ・ 介護予防ハンドブックなど情報提供
- ・ その他(例：地域で活躍する方を紹介)

C イベント ~~×~~ 有償

- ・ 演奏者の紹介(例：三線の三刀屋氏)
- ・ 講師の紹介(例：つながるサロン講師)
- ・ その他(例：地域で活躍する方を紹介)

D イベント ~~×~~ 無償

- ・ フレイルチェック(高齢者福祉課)
- ・ エンディングノート講座(終活あんしんセンター)
- ・ 特殊詐欺講座(ふれあいポリス：警察)
- ・ 認知症講サポート養成講座(包括支援センター)
- ・ 落語(立教大学落語研究会)
- ・ その他(例：地域で活躍する方を紹介)

マニュアル化し、第2層SCや地域の方が活用できるツールを作成。